

ONEPACK M URETHANE

ターペン可溶形ウレタン樹脂塗料
カンペ1液Mレタン
ONEPACK M URETHANE

鉄部、木部、モルタル、コンクリートに!

作業性にこだわった
塗りやすい塗料です!

カンペ1液Mレタンは
2つの塗料の“いいところ”

エポレタンⅡの“いいところ”

1液

- 1液で使い易い
- 環境にやさしい
- 幅広い下地適性

+

セラMレタンの“いいところ”

2液

- 抜群の作業性
- 安心の高耐候性
- 2液ならではの強靭な塗膜

ターペン可溶形ウレタン樹脂塗料 カンペ1液Mレタン



適応下塗材

- アレスホルダーZ等の微弾性フィラー ○ホルス下塗白(F4)
- ザウルスEXII ○スーパーザウルスなど

適応素材

- 鉄部 ○木部 ○モルタル
- コンクリートなど

荷姿

- 15kg ○3kg
- 艶有り～3分艶有り

標準塗装仕様(例)

木部

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
1	素地調整				
2	下塗り ホルス下塗白(F4) 塗料用シンナーA	0.12	16時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0～10
3	上塗り (1回目) カンペ1液Mレタン 塗料用シンナーA	0.13	2時間以上 7日以内	ハケ・ローラー エアレス	5～15
		0.17			5～20
4	上塗り (2回目) カンペ1液Mレタン 塗料用シンナーA	0.13	—	ハケ・ローラー エアレス	5～15
		0.17			5～20

コンクリート・モルタル

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
1	素地調整				
2	下塗り モルタルの浮き・クラック等は適切な処置を行う。劣化塗膜や チョーキング汚れ等を高圧水洗にて除去し乾燥した清浄面とする。				
2	下塗り アレスホルダーGII 上水	0.8～1.5	8時間以上 7日以内	多孔質 ローラー	1～5
3	上塗り (1回目) カンペ1液Mレタン 塗料用シンナーA	0.13	2時間以上 7日以内	ハケ・ローラー エアレス	5～15
		0.17			5～20
4	上塗り (2回目) カンペ1液Mレタン 塗料用シンナーA	0.13	—	ハケ・ローラー エアレス	5～15
		0.17			5～20

*この他にも様々な仕様を組むことが可能です。詳細については当社係員までお問い合わせ下さい。

一般鉄部

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
1	素地調整				
2	下塗り ザウルスEXII 塗料用シンナーA	0.13 0.17	4時間以上 7日以内	ローラー エアレス	0～10 5～15
3	上塗り (1回目) カンペ1液Mレタン 塗料用シンナーA	0.13	2時間以上 7日以内	ハケ・ローラー エアレス	5～15
		0.17			5～20
4	上塗り (2回目) カンペ1液Mレタン 塗料用シンナーA	0.13	—	ハケ・ローラー エアレス	5～15
		0.17			5～20

窯業系サイディングボード

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
1	素地調整				
2	下塗り サイディングボードのクラック・ボード面の脆弱層のクラックなどは適切な処置を行う。 劣化塗膜やチョーキング・汚れなどを高圧水洗にて除去し、乾燥した清浄面とする。				
2	下塗り アレス水性エポキシ 上水	0.15	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0～10
3	上塗り (1回目) カンペ1液Mレタン 塗料用シンナーA	0.13	2時間以上 7日以内	ハケ・ローラー エアレス	5～15
		0.17			5～20
4	上塗り (2回目) カンペ1液Mレタン 塗料用シンナーA	0.13	—	ハケ・ローラー エアレス	5～15
		0.17			5～20

施工上の注意事項

- ①所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
- ②塗装仕様に記載の塗装間隔は、屋外で気温23℃の条件を想定しています。低温時や屋内等で十分な換気ができない場合は、塗装間隔が長くなる場合がありますのでご注意ください。
- ③気温5℃以下、湿度85%以上の環境では塗装を避けて下さい。また、強風時や降雪、結露が予測される場合も塗装を避けてください。
- ④吸い込みが大きい素材や、下地調整を行った部分には、「エポキシシーラー」を下塗りとしてご使用下さい。(「VPシーラー」「アレススロンシーラー」は不適です)
- ⑤黄・赤・青・緑系の冴えた色で仕上げる場合は、隠蔽性を上げるため、1層目に共色で塗装して上げてください。
- ⑥外壁面や浴室壁面等にエマルジョンパテを使用しないでください。剥離の原因となります。
- ⑦耐摩耗性、耐油性、耐溶剤性等が求められるカウンター、床面、遊具、プラント、設備類へは適用できません。
- ⑧コンクリート、モルタル等のアルカリ性素材に塗装する場合は、水分8%以下、pH10以下になるまで、十分に乾燥させ、適切な下塗りを塗装後に本品を塗装してください。
- ⑨塗装する際は、適切な下地処理を行ってください。
- ⑩鉄骨等の旧塗膜への直接塗りはチヂミや付着不良等の不具合が発生する場合がありますので、必ずザウルスEXII等のさび止めの上に本品を塗装してください。
- ⑪使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。薄めすぎは隠蔽力不足や光沢不足の原因となるだけではなく、流れやすくなるために、仕上り不良の原因ともなりますのでご注意ください。流れた部分が白っぽくなる場合がありますが、この場合は、直ちに補修塗りを実施してください。
- ⑫被塗面に、油、ワックス汚れ等が付着している場合は、必ずシンナーを含ませたウエスで拭き取ってから塗装してください。

- ⑬ツヤ調整仕上げの場合、塗装方法の変動、所要量のバラツキ等により、ツヤムラが生じる場合がありますので、ご注意ください。
- ⑭塗料用シンナーで容易に溶解する旧塗膜の上には塗装しないでください。(チヂミが発生する場合があります)
- ⑮異なる色相で塗り重ねる場合、2層目の上塗り時に1層目の色のブリード(色の移行)が発生する場合がありますのでご注意ください。
- ⑯汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ⑰塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- ⑱閉じた状態で長時間放置すると、空気と反応して増粘・皮張り等を起こすようになりますので、使用後の塗料は、必ず密閉して冷暗所に保管してください。
- ⑲スチールドアなどで、ゴムパッキンと接触する部分は、粘着することがありますので、塗装は避けてください。
- ⑳シーリング面への塗装は極力避けてください。汚染や粘着、ワレの原因となります。やむを得ず塗装する場合には、ノンブリードタイプのシーリング剤を用い、更にアレス水性エポキシ上塗り又はマルチタイルコンクリートプライマーEPOをバインダーとして挟むことで不具合を軽減することが出来ます。
- ㉑ドロン廻りや手摺りなど人の手が頻りに触れると手脂等により塗膜が軟化する場合がありますのでご注意ください。
- ㉒蓄熱されやすい素材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディングなど)等で、旧塗膜が弾性リシンや弾性スタッコ、複層弾性のアクリルトップ等の場合、環境条件によっては水や温度の影響で塗膜が膨れる場合があります。これらの場合には既存塗膜を除去する等の入念な下地処理を行ってください。

ご使用上の注意事項

- 下記の注意事項を守ってください。
詳細な内容については化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照ください。
- 予 防 策
- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災が発生しない工具・防塵型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定品以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱いは、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
- 応 応
- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 保 管
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃 棄
- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 施工後の安全
- 本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導して下さい。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本 社	TEL (03)5711-8904	FAX (03)5711-8934	中部販売部	TEL (052)262-0921	FAX (052)262-0981
北海道販売部	TEL (0133)64-2424	FAX (0133)64-5757	大阪販売部	TEL (06)6203-5701	FAX (06)6203-5603
東北販売部	TEL (022)287-2721	FAX (022)288-7073	中国販売部	TEL (082)262-7101	FAX (082)264-3285
北関東販売部	TEL (028)637-8200	FAX (028)637-8223	四国販売部	TEL (0877)24-5484	FAX (0877)24-4950
東京販売部	TEL (03)5711-8905	FAX (03)5711-8935	九州販売部	TEL (092)411-9901	FAX (092)441-3339

*製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

ご用命は